

目的とねらい

植物の不思議と魅力について四季折々の生きる工夫や戦略を京都府立植物園名誉園長・松谷茂先生（京都府立大学客員教授）や、植物園ガイドが園内を案内しながら説明します。新しい発見があり、植物を觀賞する視点も変わり、何度でも行ってみたいくなることでしょう。

2024年に100周年を迎える京都府立植物園ようこそ！

会場

京都府立植物園・植物園会館前集合  
植物園正門から東へ約50m

受講料

A・B・C 各コース 8,000円

入園料

入園料200円（年間パスポートは1,000円）  
温室觀覧の場合は別途200円が必要  
70歳以上は無料  
（保険証等、年齢証明できるものがが必要です）



定員

A・B・C 各コース 20名

責任講師

A B：松谷 茂（府立植物園名誉園長・京都府立大学客員教授）  
C：青木 篤子（あおきかずこ）他（植物園ガイド）

日程

全6回 第2金曜日（雨天決行）  
A・C 10:00～11:45、B 13:30～15:15

受講申込

A・B・C 複数の申込はできません。

（日程等は一部変更になる場合があります）

①	<b>春爛漫・花いっぱい</b> サクラも絶好調！ソメイヨシノが終わってからがサクラ本番。春の光を待ちわびていたかのように、植物は輝き始めます。	2024年 4/12 (金)
②	<b>梅雨入・でも雨を喜ぶ植物も</b> 雨は外出を躊躇させる要因になりますが植物にとっては命の水。水を飲んで生き生きしています。	6/14 (金)
③	<b>澄んだ空気に秋の花がよく似合う</b> 真夏の暑さから解放され、かといってまだ光合成も盛んです。しかし植物は、確実に短日に向かっていていることを感じています。	10/11 (金)
④	<b>厳寒期、落葉樹の生き抜く戦略は</b> 落葉樹はほぼ葉を落とし、厳しい寒さを迎える準備を整えます。この状態に「枯れた」という表現は間違いです！冬芽のド根性をじっくりと観察。	12/13 (金)
⑤	<b>見たこともない温室植物</b> 園内は寒く静かな時期。独り占め！こんな時こそ温室が面白い。心も体もポッカポカ。	2025年 2/14 (金)
⑥	<b>春はもうそこに・つぼみは日々成長</b> 気温の上昇、日の長さを確実に感じ取っている植物は早くも活動を始めます。冬芽は丸く大きく、咲くその時を今か今かと待ち望んでいるようです。	3/14 (金)